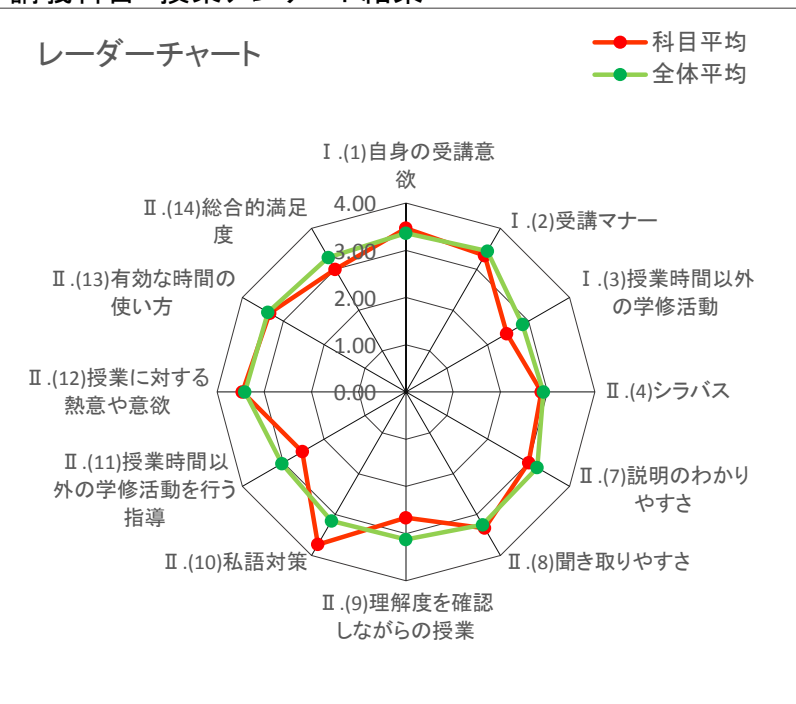
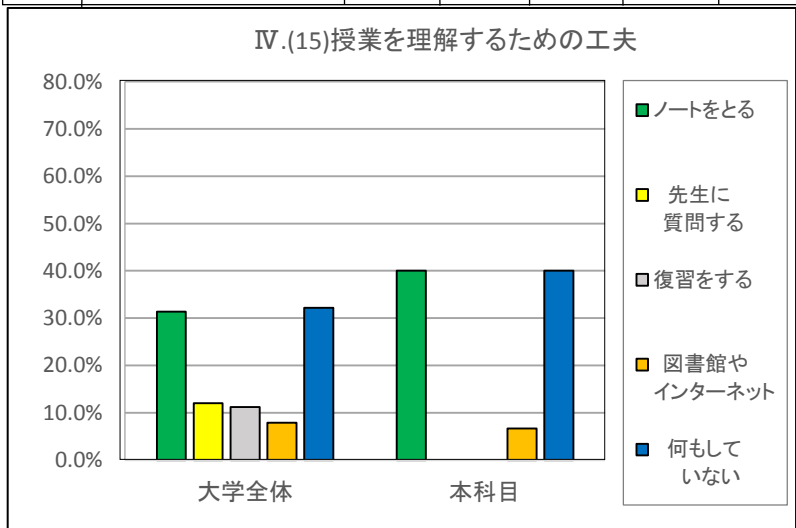


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	40.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	51304
科目名	政策科学 I
教員名	

①授業計画の達成度について

本年度前期の本講義は前半分析理論を習得し、後半にそれらの分析を日本社会に応用した説明を行った。予定していた項目はすべて教授できたと考えている。

②授業の進め方について

シラバスに準じた項目のレジメを毎回使用し、講義の進行や段取りは理解できているはずである。また、レジメに沿って説明し板書を丁寧に記述した。毎回の講義の最後に10～15分程度を使ってその日の内容の質問を確認レポートを書いてもらった。次回の授業の初めに前回の質問のポイントをかなり詳しく解説した。そしてレジメの順番にそって次の項目の講義をし、最後にその内容の質問をするという繰り返しを毎回した。レジメに関しては予習を兼ねてききに次回のレジメを配付し、分かりにくい箇所・用語を次回までに調べるようには受講生に伝えたつもりである。最後に定期試験は毎回の質問の中から2つ選び回答する形式を採用した。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

社会科学的な訓練が不足している受講生への教授の仕方を工夫すべきかという点が反省材料である。そしてこちらの授業方針の意図をよく理解されていないことももうひとつの反省材料となった。つまり、なんのためにレジメを毎回配っているのか？授業の進行手順であるし、それに準じた説明と板書を書き写すことで理解をし、それを復習し、次回に備える作業が必要であることを徹底できていないことである。それはノートをとる数値の少なさに見られる。説明の仕方が困難な点は担当者の責任であるので、その点は講義内容の理解ができない点と比例関係にあるかもしれない。それは担当者には工夫を要することであろう。本科目のような講義は毎日のニュースをよく見てもらいたい。それは授業外の勉強である。これが本科目の予習であり復習となるはずなのだが、これらが徹底できないなら、本講義は単なる一方通行の授業でしかない。今後これらの問題点をどのように改善できるかである。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.47	3.36
	I.(2)	3.33	3.45
	I.(3)	2.47	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.87	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.00	3.21
	II.(8)	3.33	3.25
	II.(9)	2.67	3.13
	II.(10)	3.73	3.16
	II.(11)	2.53	3.04
	II.(12)	3.47	3.41
	II.(13)	3.33	3.37
満足度	II.(14)	3.00	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.09	3.22
I.(1)～(3)		
講義内容・方法	3.12	3.18
II.(4)～(13)		
総合的満足度	3.00	3.29
III.(14)		